本市のペット防災に関する取組

実施年度	取組内容
平成２９年度	尾張旭市ペット防災手帳の作成
平成３０年度	避難所運営マニュアルの様式にペットの受付票を追加
令和２年度	防災ガイドブック発行時にペットの備蓄について掲載
令和５年度	ペット防災の講演会を実施 市総合防災訓練で同行避難訓練を実施 同室避難実証実験の実施
令和６年度	総合防災訓練で同行避難訓練及び同室避難体験を実施

１　「尾張旭市ペット防災手帳」の作成

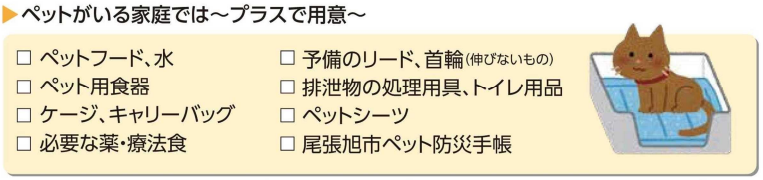
ペットの飼い主自身にも、災害時を想定し、あらかじめ備える必要があるため、ペットに係る防災の基本的な事項の啓発と、災害時に飼い主とペットの身元を示すものとして、平成２９年に「尾張旭市ペット防災手帳」を作成した。

２　「尾張旭市避難所運営マニュアル」に、ペットの受入時の様式や飼い主に対してのお知らせを掲載

地震災害等で長期的な避難が必要な場合、小中学校１２校を避難所として開設するが、ペットの受入れについても、１２校すべてで可能としている。ただし、同じ部屋で生活できるわけではなく、ペットはケージ等に入れて、テントやひさしの下で飼養することとしている。

３　「防災ガイドブック」にて、備蓄するべき品目等の掲載

令和３年４月に防災ガイドブックを発行した際、日頃から備えるべき備蓄品の一覧の中に、「ペットがいる家庭」が用意しておいた方が良いものについて掲載を行った。



４　ペット防災を演題とした講演会の実施

令和５年９月１６日の尾張旭市防災講演会にてペット防災を演題として、飼い主・自主防災組織・行政それぞれの防災活動について講演を行った。

裏面あり

５　ペット同行避難訓練の実施

令和５年１０月２８日の総合防災訓練にて本市で初めてペット同行避難訓練を実施し、受付の方法の確認やペットの避難環境の確認及び防災リーダ会によるペット防災の講話を実施。令和６年度の総合防災訓練でも同行避難訓練を実施するとともに、今後の展望のため、同室避難体験を実施する。

６　ペット同室避難実証実験の実施

本市のペットの受入れ体制は現在飼い主とペットは別室の避難となっている。現在の受入体制よりも一歩進み、飼い主とペットが同じスペースで生活する「同室避難」の実験を行うことで、避難所受入方法の検討や、今後のペット防災の在り方が検証できると考え、ペット同室避難実証実験の実施した。